

Innovation in Finance

**IR通信**

2013年4月1日～2014年3月31日



**eGuarantee**

証券コード：8771



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、企業活動に伴い発生するあらゆる信用リスクを「保証」という形で引受けております。一般事業会社は、当社のサービスで信用リスクを回避することにより、安定的な経営と飛躍的な成長を実現しております。また、金融機関にも当社のサービスをご活用頂き、従来の金融サービスの収益拡大・安定化や新たな金融サービスの提供を実現しております。

その一方で、事業会社・金融機関から引受けたリスクを収益機会を求める金融機関に流動化を行っております。こうした信用リスクの引受けから流動化までをスムーズに行うことにより、当社は信用リスクのマーケット機能を果たしていると考えております。

今後、更なる発展・拡大に向けて、当社の強みである信用リスク引受けの専門性の追求、マーケット機能の充実、有力企業とのパートナーシップを強化し、常に多様な信用リスクの引受け・流動化を通じ、新たな金融サービスの開発に挑戦し続ける会社でありたいと考えております。

当社のサービスをご利用頂くことにより、お客様がさらに新しい夢を実現していくことが当社の最大の願いであり、その結果として当社が日本における信用リスクの引受け・流動化の第一人者へと成長するものと確信しております。

役職員一同、今後さらに社業に邁進してまいりますので、今後とも皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

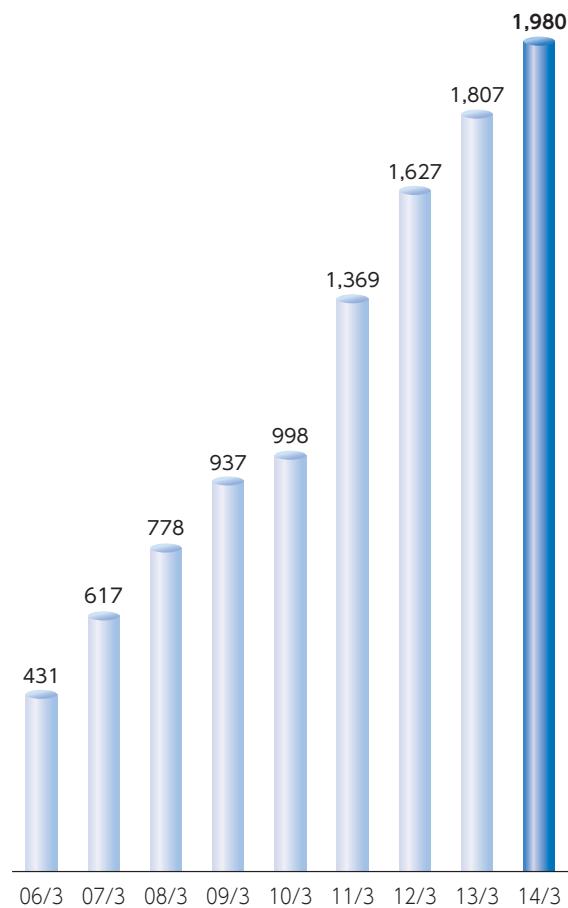
2014年6月

イー・ギャランティ株式会社  
代表取締役社長 江藤 公則

業績推移

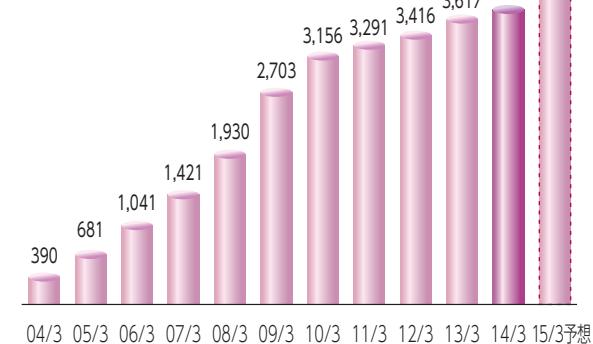
保証残高 (単位: 億円)

1,980 億円  
前年同期比 9.6%増



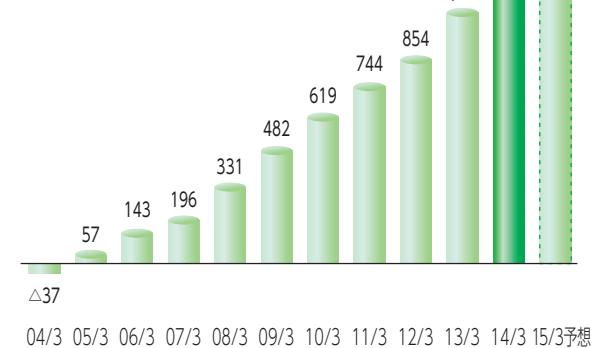
売上高 (単位: 百万円)

3,737 百万円  
前年同期比 3.3%増



経常利益 (単位: 百万円)

1,319 百万円  
前年同期比 25.8%増



Q:2013年度の成果について教えてください。

A: 2013年度の我が国経済は、経済・金融政策を背景に企業収益の改善や設備投資の持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復傾向を示しました。しかしながら海外景気の下振れや、消費税増税に伴う景気の停滞が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況でありました。

当社グループを取り巻く環境を見ますと、平成25年度の全国企業倒産件数は1万102件（前年度比5.7%減少）となっており、5年連続の前年度比減少となるなど（帝国データバンク調べ）中小企業金融円滑化法終了後も金融機関の支援が継続しており、依然として倒産件数の抑制が続きました。

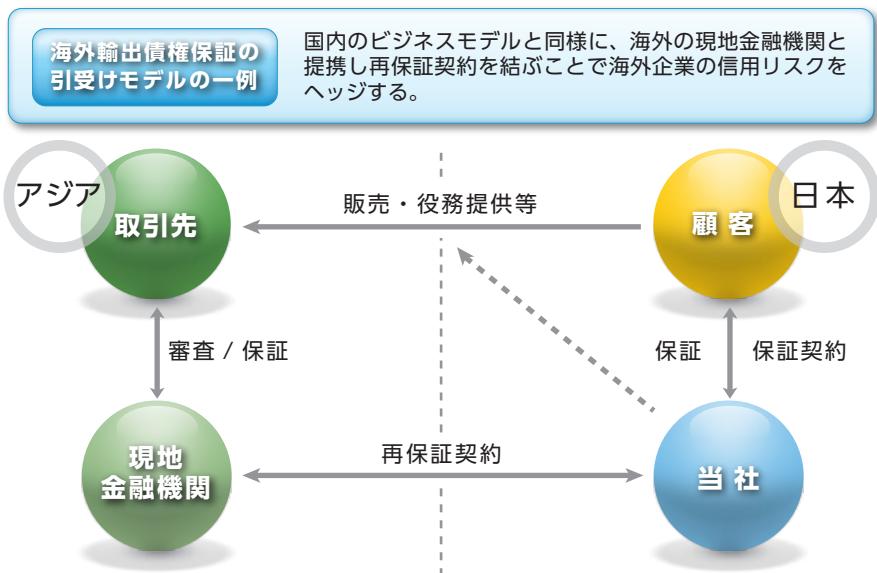
このような環境の中で、当社は大企業からの低リスク引受けを継続する一方、海外輸出債権の保証や中小企業向け小口債権保証などサービスラインナップの拡充を図り、顧客ニーズの充足に努めるとともに、契約関連事務やデータ登録業務などの各種事務作業をアウトソーシング

するなど業務効率を向上させました。

事業法人向け保証サービスにおきましては、全国各地で新規顧客開拓や販路拡大に向けた施策を実行し、新たなチャネルとして株式会社長野銀行、株式会社北陸銀行と提携した結果、問合せ件数が増加しました。また取引拡大を背景として、既存顧客からの保証対象企業に対する保証額の増額や保証対象先の追加の依頼が増加しました。

金融法人向け保証サービスにおきましては、ABL協会や各金融機関が主催するセミナー等で講演するなど、売掛債権保証を活用したファイナンス手法の周知を図り、金融機関向けサービスの強化に努めました。

この結果、当連結会計年度における業績は、売上高3,737,413千円（前年同期比3.3%増加）、営業利益1,300,109千円（同26.1%増加）、経常利益1,319,176千円（同25.8%増加）、当期純利益706,106千円（同22.0%増加）となりました。



Q:2014年度の事業展開についてお聞かせください。

A: 金融・経済政策の効果を背景に、緩やかに景気の回復がみられるものの、倒産の潜在的リスクは依然として懸念され、先行きが不透明な経済状況が続くことが予想されます。

こうした環境を見据えた上で、今期の取り組みとして下記4つの施策に注力します。

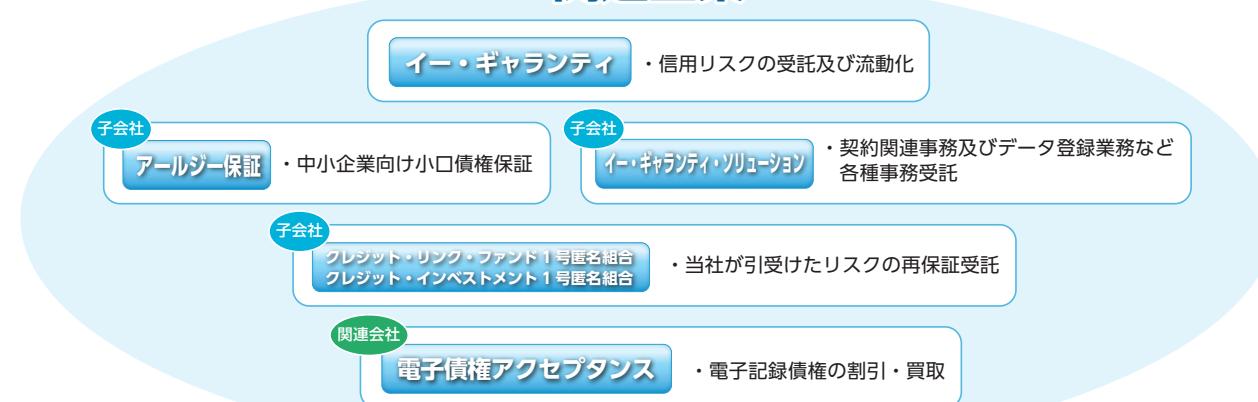
- ① **セグメントごとの商品投入**  
従前の大企業・中堅企業向けには高額保証や輸出債権保証サービスを提供する一方で、中小企業向けには小口債権保証を開始するなどサービスのフルラインナップ化を図ります。
- ② **問合せ増加への対応強化**  
子会社を有効活用することでバックオフィスの強化を図り、保証対象先の追加や保証金額の増額申込にスピーディーに対応できる体制を構築します。また契約申込のシステム化を促進させWEB申込を可能にすること

で、新規利用の顧客に対しトライアルで利用しやすい環境を整備します。

- ③ **流動化手法の多様化**  
保証残高の増大に伴ったスケールメリットを活かし、ストップロス形式による保険の活用拡大と、それに基づくファンドを活用した流動化を拡大させ、保証引受能力の向上を図ります。
- ④ **営業プロセスの変更**  
成約までのフローを「見える化」することで、増加する問合せに対応した効率的な営業活動を促進し、営業担当の早期戦力化と保証の裾野拡大に向けた資源投入強化を図ります。

以上の取り組みにより、平成26年3月期の連結業績は、売上高4,200百万円、営業利益1,530百万円、経常利益1,550百万円、当期純利益900百万円を目指しております。

関連企業



## 企業間取引で発生する様々な信用リスクを保証し、 ビジネス拡大に貢献するサービスを提供します。

当社は、売掛債権や請負債権、金融債権、返還請求権など企業間取引で発生する様々な信用リスクを「保証」という形で引受け、倒産等による債務不履行の際の保証を行うことで、企業間取引における信用リスクをヘッジするサービスを提供しております。

## 独自のリスク処理手法を構築し、 信用リスクのマーケットメーカーとしての役割を果たしています。

引受けたリスクは、豊富な引受実績を活かし、定性的な情報を含む当社独自の情報データベース等を活用して分析・審査し、金融機関やファンドに信用リスクの流動化を行います。流動化にあたっては、あたかも信用リスクを運用手法の一環として投資することができるよう、各機関が引受けやすいかたちに変換し、リスクポートフォリオを再組成します。



## 拡大を続ける販売網

### 提携先地方銀行・・・計 46 行

- |           |          |         |
|-----------|----------|---------|
| ・阿波銀行     | ・伊予銀行    | ・岩手銀行   |
| ・大分銀行     | ・大垣共立銀行  | ・近畿大阪銀行 |
| ・山陰合同銀行   | ・滋賀銀行    | ・四国銀行   |
| ・静岡銀行     | ・十八銀行    | ・荘内銀行   |
| ・常陽銀行     | ・第四銀行    | ・千葉銀行   |
| ・鳥取銀行     | ・トマト銀行   | ・名古屋銀行  |
| ・西日本シティ銀行 | ・八十二銀行   | ・肥後銀行   |
| ・百十四銀行    | ・広島銀行    | ・福井銀行   |
| ・北海道銀行    | ・宮崎銀行    | ・武蔵野銀行  |
| ・山口銀行     | ・山梨中央銀行  | ・京都銀行   |
| ・百五銀行     | ・東邦銀行    | ・佐賀銀行   |
| ・南都銀行     | ・山形銀行    | ・青森銀行   |
| ・北都銀行     | ・仙台銀行    | ・足利銀行   |
| ・東京都民銀行   | ・東京スター銀行 | ・群馬銀行   |
| ・七十七銀行    | ・長野銀行    | ・北陸銀行 等 |

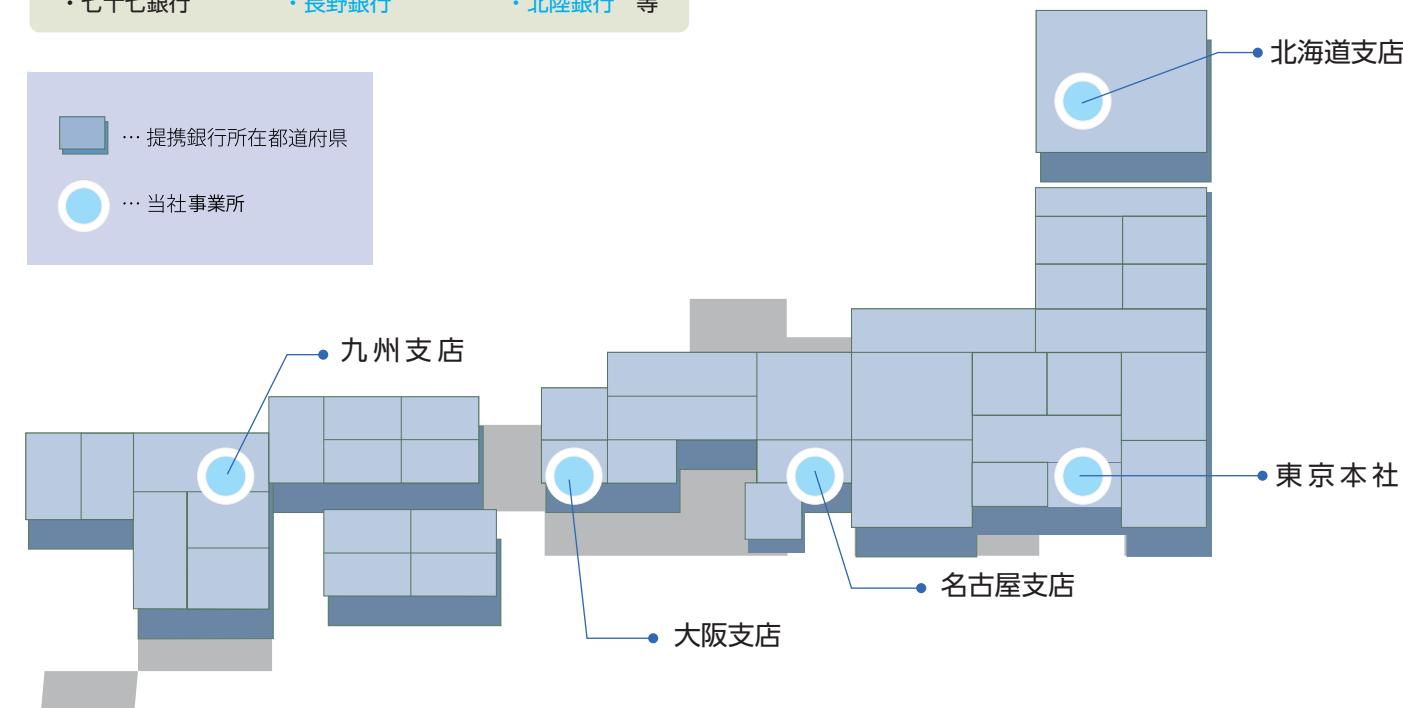
### 地方銀行以外の提携先金融機関

- |         |         |
|---------|---------|
| ・りそな銀行  | ・岡三証券   |
| ・新生銀行   | ・いちよし証券 |
| ・西武信用金庫 | ・SBI証券  |

### 金融機関以外の主要な提携先

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ・三井物産インシュアランス | ・双日インシュアランス |
| ・クボタ総合保険サービス  | ・日立保険サービス   |
| ・昭光通商保険サービス   | ・J A三井リース   |
| ・東京センチュリーリース  | ・オリックス      |
| ・エムジーリース      | ・昭和リース      |
| ・九電産業         |             |

2014年度の新たな提携先  
(2014年3月31日現在)



連結損益計算書

単位=百万円 比率=%

	13/3月期	構成比	14/3月期	構成比	増減	増減率
売上高	3,617	100.0	3,737	100.0	120	3.3
売上総利益	2,319	64.1	2,709	72.5	390	16.9
営業利益	1,031	28.5	1,300	34.8	268	26.1
経常利益	1,048	29.0	1,319	35.3	270	25.8
当期純利益	578	16.0	706	18.9	127	22.0

引き続き大企業からの低リスクを中心に保証引受を行った結果、売上高は前年同期比約3.3%増加しました。

ファンドやストップロス形式の流動化促進により、利益率は上昇しました。

来期の連結業績見通し

単位=百万円 比率=%

	14/3月期 (実績)	15/3月期 (予想)	増減比
売上高	3,737	4,200	12.4
営業利益	1,300	1,530	17.7
経常利益	1,319	1,550	17.5
当期純利益	706	900	27.5

連結貸借対照表

単位=百万円 比率=%

資産の部				
	13/3期末	構成比	14/3期末	構成比
流動資産	6,732	83.8	6,655	78.5
現預金	5,429	67.6	4,827	56.9
前払費用	1,052	13.1	1,492	17.6
未収入金	57	0.7	32	0.4
その他	194	2.4	304	3.6
固定資産	1,296	16.2	1,827	21.5
資産合計	8,029	100.0	8,483	100.0

好条件下でのリスク移転契約拡充に伴い前払費用が440百万円増加しました。

投資有価証券の購入等により、固定資産が530百万円増加しました。

ESOPによる借入金返済により、長期借入金が76百万円減少しました。

負債の部				
	13/3期末	構成比	14/3期末	構成比
流動負債	2,793	34.8	2,971	35.0
保証履行引当金	243	3.0	291	3.4
前受金	1,964	24.5	1,970	23.2
その他	586	7.3	710	8.4
固定負債	291	3.6	259	3.1
長期借入金	212	2.6	136	1.6
その他	79	0.9	123	1.4
負債合計	3,084	38.4	3,231	38.1
純資産の部				
株主資本	3,877	48.3	4,451	52.5
資本金	1,436	17.9	1,451	17.1
資本剰余金	846	10.5	861	10.2
利益剰余金	1,873	23.3	2,401	28.3
自己株式	△278	△3.5	△264	△3.1
新株予約権	38	0.5	23	0.3
少数株主持分	1,028	12.8	776	9.2
純資産合計	4,944	61.6	5,251	61.9
負債・純資産合計	8,029	100.0	8,483	100.0

連結キャッシュ・フロー計算書

単位=百万円

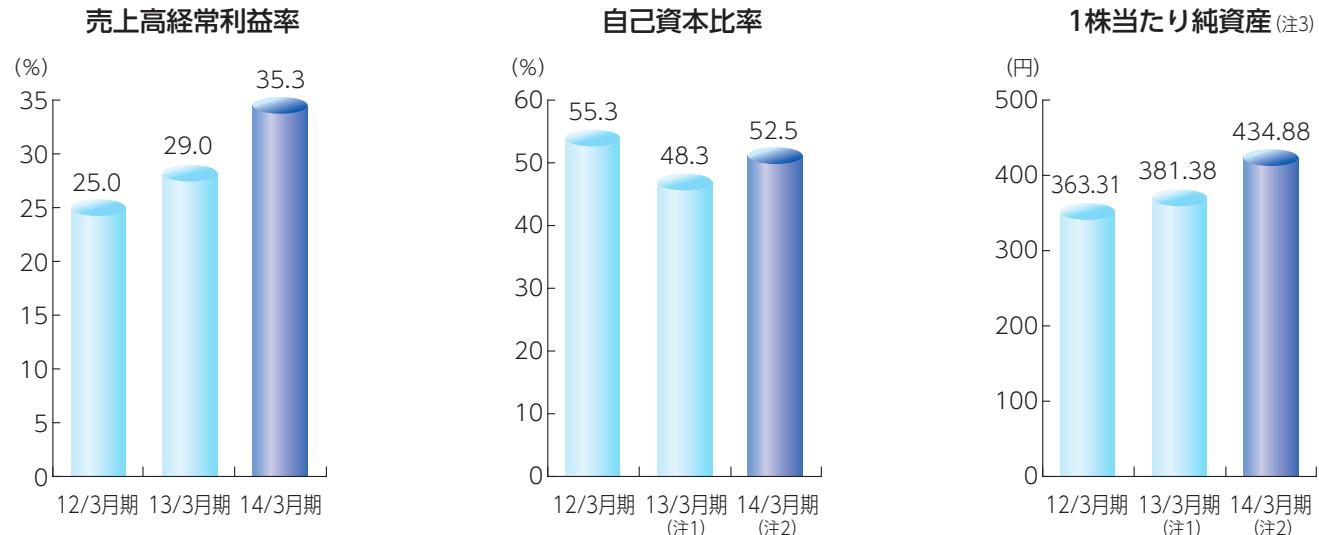
	13/3月期	14/3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	612	562
投資活動によるキャッシュ・フロー	231	△356
財務活動によるキャッシュ・フロー	317	△556
現金等の増減額	1,161	△351
現金等の期末残高	3,829	3,477

営業活動によるキャッシュ・フローの主な増加要因は、税金等調整前当期純利益1,309百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローの主な減少要因は、投資有価証券購入に伴う支出700百万円等であります。

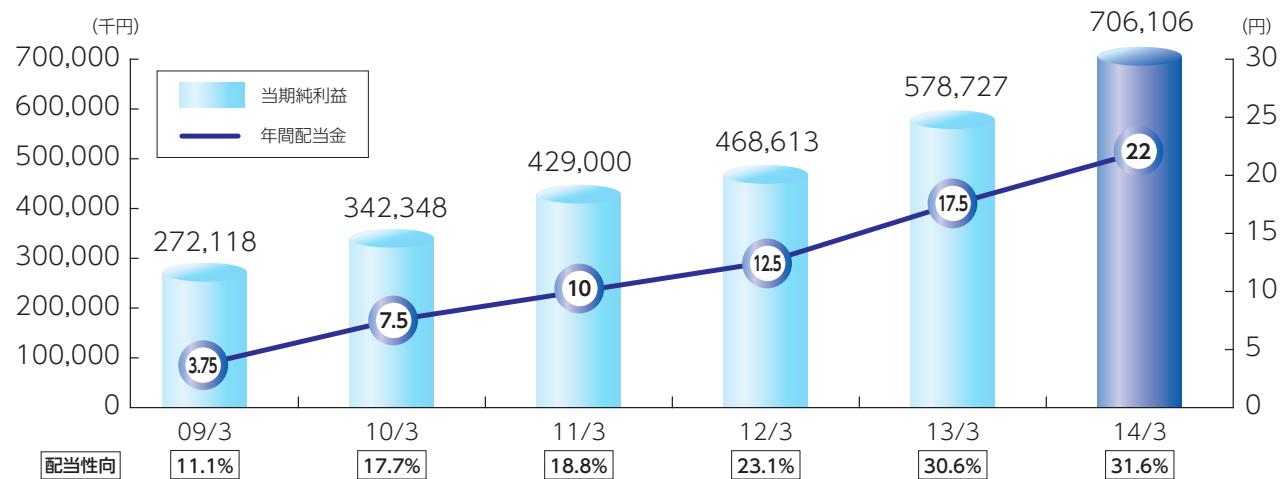
財務活動によるキャッシュ・フローの主な減少要因は、少数株主への出資払戻による支出400百万円等であります。

主要な経営指標



(注1) 「従業員持株会支援信託ESOP」が保有する当社株式278百万円を自己株式として控除しております。  
 (注2) 「従業員持株会支援信託ESOP」が保有する当社株式264百万円を自己株式として控除しております。  
 (注3) 13年3月1日付で1株を2株とする株式分割を行っており、分割後の金額を遡及して記載しております。

配当金及び配当性向の推移 (株式分割調整後)



(13/3期以前の配当については、分割後の金額を遡及して記載しております。)

会社概要 (2014年3月31日現在)

社名 イー・ギャランティ株式会社  
 (英文名: eGuarantee, Inc.)  
 設立 2000年9月8日  
 資本金 14億5,187万円  
 従業員 110名  
 所在地  
 <本社> 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー  
 <大阪支店> 大阪府大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル  
 <北海道支店> 北海道札幌市中央区大通西6-2-6 三井生命大通りビル  
 <名古屋支店> 愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー  
 <九州支店> 福岡県福岡市博多区博多駅前4-1-1 日本生命博多駅前第2ビル  
 業務内容 信用リスク受託・流動化事業

役員 (2014年6月26日現在)

代表取締役社長 江藤 公則  
 取締役 唐津 秀夫  
 取締役 永井 譲次  
 取締役 邨井 望  
 取締役 永沢 良一  
 取締役 山本 和洋  
 監査役 松本 清  
 監査役 山岡 信一郎  
 監査役 笠 浩久

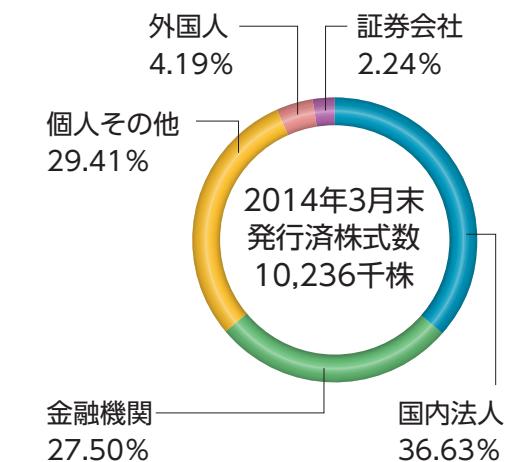
株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行可能株式の総数 15,680,000株  
 発行済株式の総数 10,236,200株  
 株主数 5,839名

大株主 (2014年3月31日現在)

株主名	所有株式数 株	持株比率 %
伊藤忠商事株式会社	2,559,200	25.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,135,900	11.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	801,800	7.83
株式会社帝国データバンク	717,600	7.01
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	360,000	3.51
BNYML - NON TREATY ACCOUNT	202,000	1.97
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	178,100	1.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	143,200	1.39
日本証券金融株式会社	112,700	1.10
江藤 公則	101,100	1.00

株主別分布状況 (2014年3月31日現在)



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会  
社の全国各支店で行っております。

- ・住所変更等のお届出について  
お取引口座のある証券会社あてにお願いいたします。
- ・未受領の配当金支払請求について  
当社の株主名簿管理人であります三井住友信託銀行  
株式会社あてにお願いいたします。

## HOME PAGE

当社ホームページで最新情報を提供

イー・ギャランティのホームページでは、会社概要、  
事業案内、採用情報に加え、充実したIR情報を掲載  
しております。

<http://www.eguarantee.co.jp/>

# eGuarantee

イー・ギャランティ株式会社

